

労働力の産地間・地域間リレー等を活用し外国人材の通年雇用を実現

【取組の経緯】

- ・平成13年に近隣の大根農家10軒で「田野大根生産組合」を設立し、生産物の共同出荷を行っていたが、令和元年に生産を切り離し、集荷・販売のみを行う共販事業者として「合同会社田野大根」を設立。
- ・令和元年から外国人材の雇用を始めていたが、令和5年に宮崎県農業経営者法人協会が、県内法人の農繁期における労働力不足解消のため婦恋キャベツ振興事業協同組合と(株)ウイルテック(人材派遣サービス)との3者で「産地間人材リレーに関する連携協定」を締結し、法人協会から当方への打診があり産地間リレーに参加。

【取組の概要】

- ・現在、自社ほ場は保有しておらず、契約農家約30戸から買い入れ、加工・販売を行っている。
- ・契約農家での作付面積については、大根35ha、甘藷27ha、高菜25ha、らっきょう15ha、日向夏60aを栽培。
- ・らっきょうの収穫後のカット作業については、ベトナムの加工場へ委託。
- ・外国人材を含む社員については、社会保障等労働環境改善のため、長女が立ち上げた別法人((株)KIA)で正社員として雇用しており、現在10名(日本人4名、外国人6名)が当社に在籍、また、その他にも外国人9名を雇用しているが、農繁期までの6か月間は、群馬県婦恋村や県内法人へ派遣している。
- ・外国人材の住居については、雇用者自身で確保する必要があり、当社としては、民家を購入し社宅として、また、新たに受け入れる人材については、法人協会と宮崎市の連携により、公営住宅が容易に活用できるようになり助かっている。
- ・社宅及び公営住宅からの通勤については、電動機付き自転車を提供している。

【今後の事業展開】

現在は、農家との契約で、集荷・販売を行っているが、農業者の高齢化、担い手不足の観点から、共販事業のみではなく、並行して生産部門を立上げ、事業の拡大に取り組みたい。

なお、立上げに当たっては、農業者や新規就農希望者を社員として募集し、新規就農希望者に対しては、独立までをサポートしていきたい。



外国人材3名と川越代表(右端)と長女(左から2人目)



カットされたらっきょうが塩漬けされているタンク